

## 茅ヶ岳&金ヶ岳山行報告

【山行日】2016年7月3日(日) 曇り後晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 4:00

【費 用】マイカー2台 : 5,400円

【メンバー】CL:鈴木ユ、石川、大西、梶内、島田、  
関、津佐、藤原、

【コースタイム】岩舟支所P4:00=深田記念公園

P6:10/6:30~女岩 7:50~茅ヶ岳 9:00/9:10~

金ヶ岳 10:10/10:20~茅ヶ岳 11:15/11:50~

深田記念公園 P13:20/13:30=岩舟支所 P17:15

上州武尊山に登る計画だったが、上越方面の天気が悪く雨の予報なので、前日雨の心配が無い茅ヶ岳・金ヶ岳に変更し登ることにした。



東北道から圏央道を通り、中央自動車道へ入ると富士山が見え、山頂は雲に覆われているが端麗な姿を見せていた。双葉 SA でトイレ休憩し、すぐ先の菰崎ICで降り右に進んで10分程で登山口駐車場に着く。

駐車場は広く、40台は置けそうな広場で水洗のトイレが完備されている。トイレを済ませ、ストレッチを行って出発する。

駐車場から一段上の道を西に進むと深田記念公園があり、ここから右に登山道へ入って行く。

登山道は広く、アカマツやコナラ、クヌギなどの広葉樹で覆われた道を緩やかに登って行く。

しばらくすると舗装された林道を横切るが、左に進むと千本桜大机登山口に行き、近年はこちらの登山口から登る登山者も多いようだ。

広い登山道が、いつの間にか細い山道に変わったなと思う頃から、大きな岩がゴロゴロし始め傾斜も急になる。少し登ると、正面に大きな屏風岩が立ちはだかるように現れ、ここが女岩らしい。標識も無いので気が付かず通り過ぎ、後で女岩であることが分かった。女岩の先で休憩をとり、グレープフルーツを食べ水分を補給する。ここから九十九折れの急坂を一気に上ると稜線に出て、急な尾根を登って行くと右手に「深田久弥終焉の地」を示す石柱がある。



『百の頂に百の喜びあり』と、我々に登山の楽しさを教えてくれた深田さんを偲びご冥福をお祈りする。岩の多い急な尾根道をひと踏ん張りすると傾斜が緩くなり、広い山頂に飛び出た。

『百の頂に百の喜びあり』と、我々に登山の楽しさを教えてくれた深田さんを偲びご冥福をお祈りする。岩の多い急な尾根道をひと踏ん張りすると傾斜が緩くなり、広い山頂に飛び出た。



山頂からは360度の大展望で、富士山をはじめ南アルプスやハケ岳、奥秩父の山々が見渡せるが、今日は雲が多く、富士山やハケ岳は半分雲に隠れていた。山頂で大休止し、パイナップルや菓子を食べエネルギーを補給する。方向指示盤を見ながら大展望を楽しみ、記念写真を撮って金ヶ岳に向かう。北へ木の根の露出した急な道を下り、鞍部から登り返すと石門をくぐる。痩せた岩の尾根を登り、観音峠への道を右に分け南峰を越えると本日の最高点、金ヶ岳山頂に着く。

山頂は北側が灌木に覆われ眺望が無いが、南側は明るく開け南アルプスや富士山の展望が得られる。山頂で冷たいメロンをいただき、のんびりと眺望を楽しむ。展望を楽しんだら来た道に戻り、茅ヶ岳山頂に着く。山頂は多くの登山者で賑わっており、山頂の一角に陣取りランチタイムとする。

本日の山ごはんは、定番の天ぷら入りキノコうどんにミズナの煮つけやトマト、デザートにメロンと豪華版。お腹いっぱい食べたら下山する。下山は南に向かって尾根コースを下り、途中千本桜大机へのコースを右に分け、尾根道をまっすぐ下って行く。途中から防火帯の中を下るようになり、木の柵で止められた所を左に下ると朝横切った林道に出る。林道を左に進むと直ぐに、朝登った女沢コースに出て右に進むと駐車場に戻る。靴を履きかえ、トイレを済ませて帰路につく。双葉SAに寄りお土産を買い、ご褒美のソフトクリームを食べ岩舟支所へ向かう。



中央高速は談合坂SAから小仏トンネルまで渋滞し、1時間位ロスしたがほぼ予定通り岩舟支所に到着した。